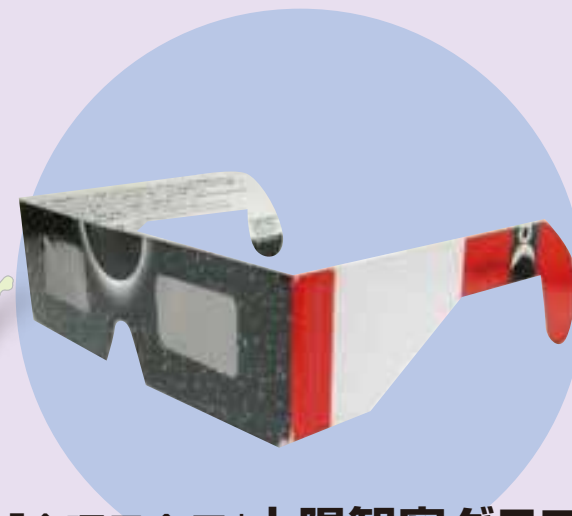
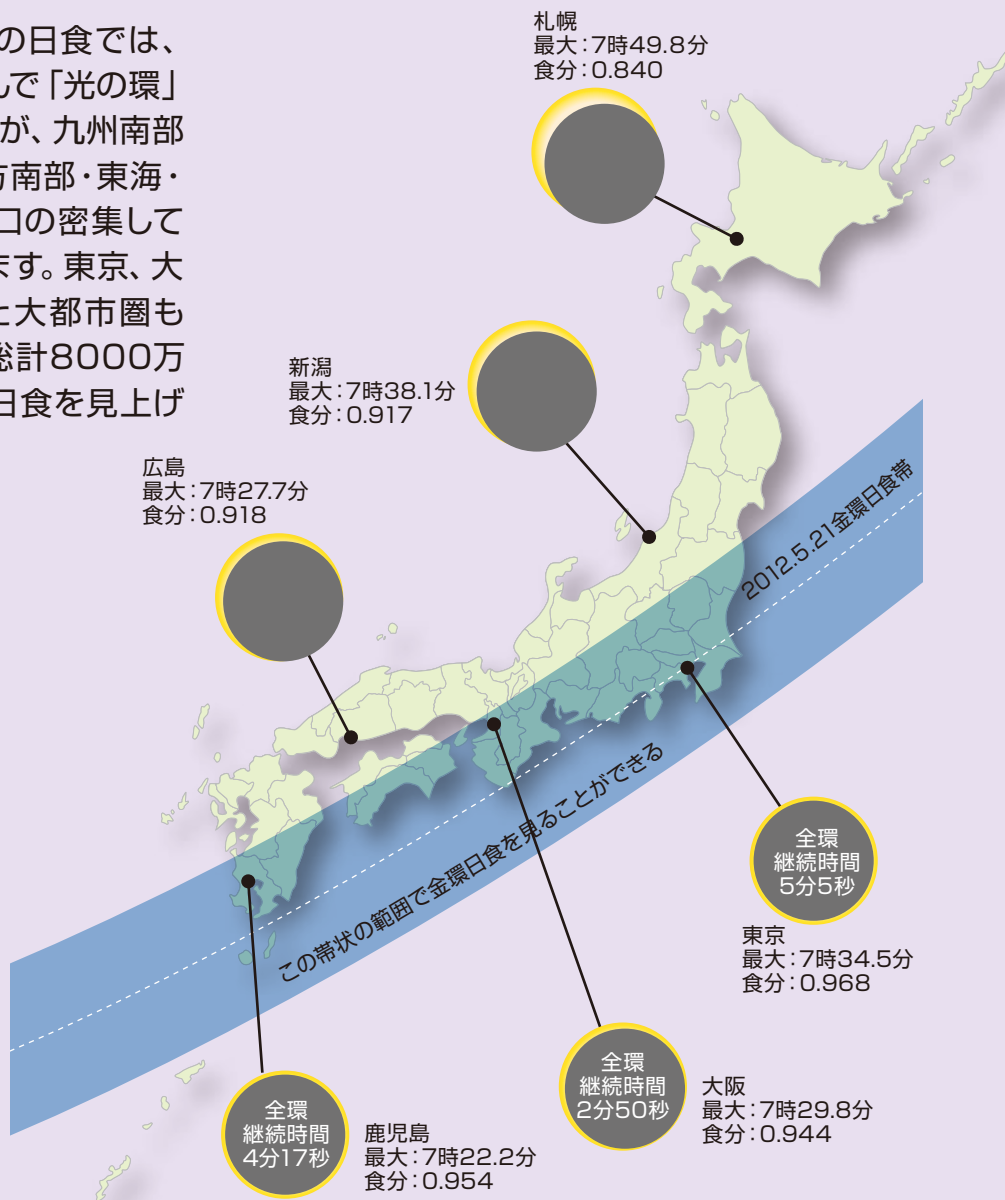


2012年5月21日 「金環日食」が日本を横断

2012年5月21日の日食では、月が太陽に入り込んで「光の環」となる「金環日食」が、九州南部から四国・近畿地方南部・東海・関東地方と特に人口の密集している地域で起こります。東京、大阪、名古屋といった大都市圏もこの中に含まれ、総計8000万人ほどの人が金環日食を見上げることになります。



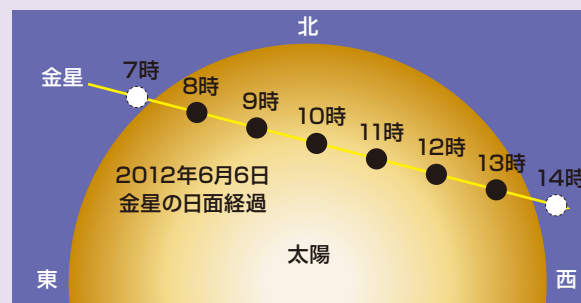
「金環日食用」太陽観察グラス

目の安全に十分配慮して、直接太陽観察を行うための太陽観察グラスを製造している、世界的リーダー・フランスSOBOMEX社製のグラスです。

2009年7月に起こった「皆既日食」の際は広告後、2日間で完売しました。

皆様、お早めにご準備をお願いいたします。

太陽観察グラス
「スカイ&スペース」
1本 **¥500** (税込)



2012年には5月21日の「金環日食」のほかにも、6月6日には、金星が黒い小さな円のシルエットとなって太陽の前を横切っていく「金星の日面経過 (にちめんけいか)」が起こります。この現象は全国どこからでも見ることができます。今後、日本で見られる金環日食となると2030年に北海道で見られるものまで待たなければなりません。